俳諧類船集 巳

俳諧類船集巻第七

恵

恵比寿酒 商買棚 折敷 西宮 紙 紙屋 宝町 和泉 月 鯛 大根

硫黄が島の鶴岳と云所は多ひと三郎殿とて外ニ多殿とゝ申ます。九月廿日八恵比寿酒ゝる所の西ひとの子のみなもと。十月廿日八恵比寿酒濃として商人問屋ゝ。ごよいゝひ祝。ゑひ寿大黒福禄寿と三福神として絵ようやしてゝけ作り

絵 かとゝひ祝ひ 巻物 花 扇 ゝ人ゝゝふ ゝ弁の屏 屏風 次ゝの浦 床 天井 絵起 衣裳 古ゝ 古ゝ 懐紙 表紙 貝桶

羽子板　太鼓　鑑　茶碗　袴
豚麓　美女　五器　比丘尼　小袖
帷子　壁の苔　板戸　仏壇
鶴林玉露曰繪雪者有不能繪其清繪月者不能繪其明繪花者不能繪其馨繪泉者不能繪其声繪人者不能繪其情
江村清境皆畫本ニ。後名羽院ハ
さをのひく　似絵ハ
らせ　三牛　絵ハ
景　蘚　蘚畫陰窓ニ。五帝畫衣冠而
民知禁ニ。雨後山如畫ニ。絵ハ
ゑで　山吹　ハ
ゑ男女の　絵物ハ

絵巻

昭君　李夫人　中将　条経
碁盤　象戯経　八卦　城
名所　軍書　富士　須弥　普賢
紺屋の絵文　安宅の関
父母の絵像と仏床の中ハ
みて　欲絵　赤馬　山林田
畠の　絵ひ　絵院　絵
東江北行畫圖　江
ひ　ハ
歌の絵なり

絵合

貝　ひ　扇　遊ひ　扇
立箱　衣裳　袴　源氏の巻
絵つひ
花鳥風月のさう　扇の絵
　　花
　　鳥
　　風
　　月
　　花
　　鳥
　　風
　　月
　　花
　　鳥
　　風
　　月

栄花（エイグワ） 平家 一臨の巻 教経家

極楽 初後

平家物語より我為の栄花とゝふは相国清盛のなり。栄花をさきめ世界をうちなびかしてはなりぬべきかとゝ唐玄宗のなり。光源氏は主位をもわすれ玉門をもはなさずとなむ。ものゝよろこぶ人者ゝ

ゝわるゝにまさる者のなけれども

ひとゝひろれば

ゝ

てゝあるゝ

厭（エグボ） 兒口 湯 金女 生鬣（ナマタベ）

閑子 義女

空父 嬀然 笑厭 閑春風元自蜀山来

西子去時遣笑厭

織女留星去

よろゝのわゝ

疫疠（エキレイ） 牛 飢饉（キキン） 疫疠

鐘馗（シウキ） 紙屋 今女

金伝

佛説云我法滅尽水旱不調百穀不熟疫氣流行死亡者多ゝ。叔襲ハ兄の疫疠死ゝ

ゝ人ゝ。呉孫権月氏を攻して

粒万人ゝ海ゝ疫疠して死

ゝ。大物主神八百万神と条ゝ疫疠や

ゝ。楚桂ハ乱妨ゝ大英の

幣ゝ軍士疫ゝ大英

ゝ万人ゝ

穢多（エタ） 河原 かひゝ条 科人

緣色 藍染 唱門師

柝拍子 掃地 伯耆

町人の肉ゝ

ゝ

ゝ

天竺ハ旃陀羅

ゝ皮ゝ

川流天色大祭

笑（エミ） 花 栗 森女 百の媚 烽火

刀 押賜 大品 えひと 布袋

延喜帝

[illegible]悠成笑ふ。賈大夫[illegible]して妻三年ありて[illegible]を射[illegible]して書[illegible]めて笑ふ。賈笑ふ未知誰か是主万人心逐一人移[illegible]は観舞女の詩を孟子云背肩而諂笑ふ。牡丹索笑ふ

榎

偽ふ　土地名　一里塚

猿

茸　文多　猿

[illegible]どの[illegible]の[illegible]の[illegible]の

有磯　菱の山　砥波山　大谷の海
卯花山

越後　同　塩川　白究　八目鰻　鉛
魚　寄魚　寄帰　縮布
白菘　燭燭　名所の巌

比

雲雀　義野　芝生　野辺の里　野沢
芝生
苔の毛　骨　行灯　夜灯　月器
萩の焼生

雛　病　池子　姫路城　関東　名
池生の景色　鶴　宝徳　新路

蜩　森　蓮の葉　新の木山　京の町
秋風涼し

未ぬ人　ともち　門　俗人　名人　滝
風こい人

蛭　蛭の食物　脳　小酒　酒しか
蛭の病　芹　荒布　名産
蛭の性　塩　みんく　名面

[illegible]日大系門とまろわろ[illegible]の付さ
[illegible]れて[illegible]捨さの何書し[illegible]
ひ付[illegible]豈徙蠅[illegible]蛭蟻と帝嚴
原賦よりけり。六月の[illegible]
る蛭[illegible]

羊 ヒツジ

ひつじ 車 員の八時 虚空蔵
宗廟祭 石 往生 牛

高固為楚相有五仙人騎五色羊持穀穂遺別人
[illegible]羊のわわ[illegible]
ちろさめんか挫武人柔羊[illegible]
[illegible]式の羊とよくひしてと治[illegible]
[illegible]羊ハ[illegible]
[illegible]羊と[illegible]

姫 ヒメ

百合若 凡 楼禾 松 桂 桃
汐文 糊 明石の入り 行元の義
垣 玉津島

[illegible]姫の[illegible]
[illegible]

[illegible]大蛇の[illegible]
[illegible]
[illegible]姫ハ[illegible]
[illegible]

義人 ビジン

[illegible] よでゝの花 圓の孔
蜂火 董茅 西方 行元
常嫁 山茶 小町

唐太宗ハ鄭仁基の姫義人の[illegible]
[illegible]と魏徴云彼女ハ既に他[illegible]約せり[illegible]諫[illegible]。
義人伐性[illegible]。花似義人唯欠語[illegible]詩経誰之思
西方義人[illegible]。楚辞望義人兮南浦[illegible]半夜五候
池館裏義人驚覚為花愁[illegible]恨の詩

麒 ヒジリ

麒麟 鳳凰 改 蛍 行灯
[illegible]野 [illegible]

くさ　くさ　ひ　ひ　さ　さ　ひ　ひ　さ　さ　ひ　ひ　さ　さ

月と佛の心 鄭安國 佛

礼記樂記云独樂其志不厭其道孟子曰独樂樂不如与衆樂樂

額 山竈 岸甲 綿 白毫 猶

牛 犬の子 人ところ 六人

額髮 岸の柳 馬幽昊

肥人のひたひ ゆたかなる女

海老 大根 山の芋 人参

鯢 鰍 蛾 蛇 猫 蚊

酒 苦 天狗 唐人 ちびと ちびた人

濁酒 ありとら 満仲の郎 射反

炙盃

法師おろひけのそりてあるよろうのぎいくなひ

ちそ傷ものくふ。謝灵運鬚長到過膝

宋韓琦師定武時夜作書令侍兵持燭於傍

侍兵顧他燭燃公鬚須公遽以袖麾之而作書如

故。ちりもこの花しられちりこちらしい

君ぐひけるぐぐ。人のかちくいもの女よ

ちりもちてちりちりちり。酒徳頌云奮髯踞

枕麤糲糟。唐李勣八姉のくちよ鵝養

て鬚須を焼

髭 みぐちち 相撲 琴 鉄炮 鞠

猫 狭合 松 満仲の笛

祖右肩右膝著地合掌恭敬して深菩提仏
をとなへのひとへに漢管寧の膝のわらびと木槨
ふうぐそり先主身長七尺五寸垂手過膝ゆく。施
燈前影伴身ゆく。独顰眉而永結空抱膝而
長吟ゆく。形故右のひざをつのくるの独をひらげ
月をすて日をうけてとくく

肱

ヒヂ

松　掛金　綿　唐綱　窓

服息　出の志ろ

壁上焼香拝仏ゆく。誰料平生壁鷹手ゆく。
両唇封口一臂低頭ゆく。仙女ゆく琴ゆく。対のるゆく。
約臂黄金寛一寸逢人猶道不相思ゆく。妹久入彩
ゆくそよひちゆくさの弟ゆくふゆくゆるわるゆくれゆく

琵琶

ビハ

法会　鈴字　け　法印　敬白
かつれゆる月　ゆるし　方丈

賀茂　善薩　答授　大臣　天人
入江　主働　紅葉　琴　野花　宇治山
佐藤の鎧　積塔
大設大臣師出ゆく志社ゆく秘典と落ゆくれ

早の弟よ喜多ゆく。ゆく天の左のひよ三
珠の琵琶ゆくゆくさのつゆく。菊声のゆく。牧ゆく落
ゆくゆくゆく琵琶ゆくゆくゆくの三位ゆくゆくゆくゆく
ゆくゆくゆくのゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
ゆくゆくゆく木陰ゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
ゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
ゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく

屏風

百姓の門　何ゆくゆく

ゆくゆくゆく　約　屋の内　宗　山茶
姫入　松りく　地ゆく　桑ゆゆ
横安　紅葉ゆゆ

痴燕集屏風ゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
ゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
ゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
ゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
ゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく

火

蛍　狐　花　奇の漢　矢　石　墨

胸　伽羅　百夷　たづこ

比叡　神明　生腦　竜腦　奇の国

鮒　国　柘榴　月　弥勒　小家

酒　艾　鰹節　蜜蜂　宝乳

金比羅の王崩せしかば一和尚と生きんとて
薬火の中へ飛入しかば
ちつまい山伏のうつ火とてそこなれ。日本武尊の後
ろかみて賊をうをさんとて火打やく付
むりの火とをるくもねるうるとそこなり。楚人一
炬の火より安房宮も烟となるなり

火燒

清士　清水和尚　宗長

比叡の鬼　宝紙　陣山

辻蜜　常世の宿　五月　塩屋　釜く

風呂屋　新すすめ　十四日五月　紙ごの塩雛

胸　うつさの蜜

火ちらとうつりたるかとり　ようくくこの綱わ

らふかさすんとをかいてそ
よやとりして毛をもつのさしーこ伏にすくけとか
しそはの勅とをりぬのあ面ーこるとを山ま火
と燒とうりぬそこそゆひろぐすぐ軒とめころ
てくやゆうんとをのびやくふつぶやこくふあ戸
男し。蜜のあくまのりくいくぬとこそそ沙
らぐくありふりあ

火とり

花　百合　神茶　伏ず

炉路　遊行のおこるひ

汚　紙屋の化物　蜜　狐　鯨とろろ

知こ百ろ　え方　棚野

あのまをりてこり火とそ
けありかふつぎこのいもうえぐけ面部くあ
鮒衛とあのこりせろいこ火のあわ翌ん
いもこりひ。おいちこりしこりきわ中
柘ままあろくいろくあろとまつめこて
めるくいこれあやのひくいこ
すなりぬ伝鶯しあ沢
らくいるの中ふよ。ー

火桶

焼物

はしめ

初めは火桶のごとくの火桶なれども
後には鍋のごとくなりて
よろしきつくりなり火桶は
勅使の宿より机のごとくなり
いろいろ

火鉢

田楽豆腐　みそし豆腐　奈良　矢倉　酒のうんのわるいとき
うるし　蜜柑のつりてあるいは
かたのもてるとき火鉢を
よわしてしきわらを火にすべ
こにおきて朝門をあけ

月

紫　うらく　山雪　雪
雪消　雪　天の月　戸　簾　月夕
雲　朝夕　俳諧

鶏なくこゑ　亡人
荆軻　暴燕丹之義　白虹貫日
月轉
駿馬の足
ひろのこゑ
つと出る
是共生神
穂王

月待

五月九月　庚申　酒　清あるゝ女
去近　花菖蒲　中法　母衣の絵
約束
中ハ
月よ
俗
花
清
天
月

月新

雪　雪　うどん　麦　酒
うどんそめ　行燈の下　雪人
樒木
花ハ日
菓ハ日
日陰

旦新とゝらふとゝ。沈の魚八日のさたくさへう
うゝうゝやうゝ旦新さんまてゝ八神魚

月蓋

鞠 行水 小名 綱玉 旅商
舎りうす 納涼 一里塚
傾城 山路の附名 乃ゝそく旅人
追ゝぎ 傭人

人員とゝのぶ人八日蓋てゝそ。蝙蝠八日ゝれ
形めゝとゝ日ゝるれいあふ人ゝ也なゝ 極木ちゝゝ
めり。どうつゝしるとゝとゆゝゝ花の色のあゝ紀えた
のゝ旦八ゝまめゝも。雲海流々洞天日晩ゝ長根
寿偕なり

月蘭小向

苔猿 猫 壱 非人
石を沼 犬

あゝれ 鶏も 鶏の梅ゝ羽をひろけ
てかせり。ゝてふ人ゝ永以ゝ年を固てゝ
ゝとむとゝふゝ。山形ゝ子まめゝ獣も人気をけ
ゝ旦ゝけゝけゝくゝゝひゝゝ

月和

出和 洗濯 汐ゝゝ 潮和

蓋の智ノ 旅人 この年始初の 矢数
雲かゝる 夕虹 うゝ雲

樹林ゝゝゝ

かゝるゆひ〜ゐ百姓ゝ。業舟中に載大唐。
一文山つゝえ家のつゝ[illegible]
つゝ[illegible]その一[illegible]

檜 ヒサギ　片山陰　初秋風　立藤む袖
霧萩々　濃き　清き河原
なりゝの滝　桐

檜原 ヒバラ　清水茅原　雲居　月　月日　月宮　山峯
松山　扶桑　松　三輪　向
み尾山

檜垣 ヒガキ　夕くれの宮　池水　白川　藤
柳垣　刀のやとりめ
垣結　武帝の後　厂　陣場

菱 ヒシ　餅　池　泥　敢不　柄杓　蛙
みゝ[illegible]
の月もさやく。菱池鏡浄無波白黙花鞠青
角多　自樂天の作。
ちゝれくゝひゝのゝ
きぬの池ゆひゝ

櫃 ヒツ　具足　弦巻　玉　飯川
書　櫃　つゝざゝ　櫃
て珠　明薛瑄の詞
さゝ

[illegible]

貪乏

柿　傾城狂ひ　牢人　為我　道世　紀の国
芦葉男　朱買人

天子殿前無貪児。京君廉不言貪。との定公詠り給へ。貪乏不能存此是好消息とつかへ崔
云瞻り毎也盗賊起貪窮。吾貪也非病也と
京憲り子貢ふ云。髮於貪裡白。小人
貪斯約

昼寝

海苔　狐　蝶　蝙蝠　夜鷹
猫　巣　おさのひ　松蚊屋
盗人　子　羊　鈴羊

木のトかしとられと蚊
蚊のそそ[illegible]
ひるねの[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

東

松　[illegible]　紙屋　清水　石山
[illegible]　[illegible]　[illegible]
明星　茶師　[illegible]　[illegible]　[illegible]
山王祭　日中　[illegible]　[illegible]　白碁石

[illegible]
東使日本西使大明　[illegible]
[illegible]
[illegible]
六条法四町　[illegible]
[illegible]

一村

[illegible]　崔　屠　弓　[illegible]
氷室　[illegible]　[illegible]　軍勝
猪　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一通（トヲリ） 村河内 久宣 書物 初信
俊彦（シュンゲン）若 徒 海辺 町
三十三ヶの矢数八人のきこりひとりとして一通りとそ籠のあハ行の中とうこひ。梅木之虹
梁とかわうて紙こうろく。疫のつくてうよ茶
も入やうぬハ笑止なり。

一折（ヲリ） 連歌（レンカ） 多年 花の枝 紅葉
推宝（オシナ） たこ絹
鼻紙ハ世くうの紙ハ白ハ懐（フところ）紙
高なるへし。屏風ハ金せうく立ろそり。み
そそぬさしハかりもうくるとの紙ハの多け今入
鄙の初ものうのみこもうう

一重（カサネ） 土器 盃 帛 呉服 祝
出篠 性彩（ウツリ） 素敵（カタキ）

つちまひくそうの衣の一重ひちくの今の数の高さ
まうの高ハかう餅ハ三ぐ少つり素とそくくか
さひ上ろう。竹之為尾僅十稔巻重覆之得二十
稔とハ行樓記なり。

一声（コエ） 竹くよ 宝鐸 ハれはの会
文字 山坂 溝 塚
唖（ウレ）の一しハ高きこのおとりひ竹くり。一声霹靂
驚天地ヲ。自笑一声天地驚ヲ。大の一しをと
ものくり。一声鳳管秋驚ヲ秦嶺之雲ヲ
一筋（スヂ） 弟 素敵（カタキ） 横ヒ 亜尼 川
矢 おりひ切ハ 徒 きう
糸 粧し撥（チカヒ）ハ 虹 縄 髪
器の面とうくふ高ハ白ハ紙なうくうくうくり。
うかうふ初ハかりくうひくのうつもくなのの
くう一ひくうよ。柳の糸みくれうの山ハ二ち
うくうりひうくう

一振（フリ） もり 久宣 付箱 推（ボウ）うひ
鞠子（ブリ） おく楼 太刀 鹿（クビ） ざい
錫杖 牛の角
毒の紙ハ木八人のくよ四うくて松りまち
くう。弟ハ高ハ高とうのふもりとのぐひようるひ
くうやうとうけうくもう。徒りくうくきこ松りくハ

ふしか藤とうんく長歌よみめり

一口（クチ） 鬼 虎陣（ジン） 風 蒔絵 糸

酒のとけ 濃菓（コイガシ）の徒

一口半歌西江水（ニシエノミズ）。そこらの大豆八数とうとうく
一口ふりかけて供（ツク）ふるとうく悦（ツバ）ち品一口八と
りくもふせうく物くや。傾城屋町八一口ふよ
てかとうり

彼岸（ヒガン） 柳 蛇 ちゑ 侠客 歌人

団子（ダンゴ） 麩（ジ）の焼 恋（ヒ）慕こころ 菓とうん

田舎人八彼岸とうけく糸内まりと傳（モチ）せり。
其のひんの和ねよそれくの物とうんう
とうんう物いうせうて のみりとうとうや。付家
うとうと会仏と勤行ーーうう。弘誓の舟八彼
岸よつくりのとのとーーうう

毘沙門（ビシャモン） 小豆 聟入祝云 若月女

楠氏 訳者 義 勤る

志ゝ 月 清水

勤通（ツトム） 会仏とう勤うう
ーーう。蜘（クモ）ーう。蜘（クモ）ーう。使出（ツカ）されい福なりーーう
ーう。初云の初寅二月三ーんーて勤る清ーう。
紙屋の書社ハ毘沙門まーーう

氷柱（ヒノタメル） 治る世 歩（ユク）ける年 まの名

冥加（ミヤウガ） 狩改（カリアラタ） 南蛮 炭屋（タドン）

常寿 上主 冬至 懐姫（ハイニン） 灸の試（コロミ）

刀 ねぐーう の 湿（コロイ） 菓枝の竹

六月初日ハ丹波の栗田の郡ふりさーう山潤（ミツキモノ）
例年ーーそ。祇園の地い祇ーうーう生ハ人祇
まもとうう。ふそまう年ふのーうとその氷
此のみのふうさめくうを氷柱のあーうで

干潟（ヒカタ） 拳（アゲ）紅 蛤貝 牡蛎（カキ） 豆（マメ）

岩藻（ヨルモ） 氷餅（コホリモチ） 丸茶

ふーうもの形ふのの和布（メカリ）刈 大晦日の和とうや。
ふーうり狗（アハリ）ふーう生ーう。二のふハ代宝のいま
とうう。ーうのうーうのひうーうにかく病のひ
ーうそわうそぶふなーーう

干塩（ヒシホ）　焼餅　酒　漁　鱭漬（カニツケ）
鰯（イワシ）漬　丸山　蛤

[illegible]

紐解（ヒモトク）

産　咲元　[illegible]
別附（ベツヅケ）　金仏　羽織　黒袋（クロブクロ）　[illegible]

[illegible]

一向（ヒタスラ）

世捨人　狂人　[illegible]
[illegible]　[illegible]　犬の尾
[illegible]　田面の雁

[illegible]

小[illegible]

単物（ヒトヘ）

彼岸桜　[illegible]
[illegible]　梅　礎（ロサク）

[illegible]

開（ヒラク）

花　[illegible]　文運（ウン）　[illegible]
不[illegible]（フレン）　[illegible]　[illegible]　[illegible]
門戸（モンコ）　扇　書籍（ショセキ）　[illegible]　[illegible]　傘（カラカサ）
地獄　[illegible]　悟（サトリ）　切痔（キヅ）　[illegible]
眼鏡（メガネ）の餅　[illegible]　[illegible]　[illegible]の蓮花（レンケ）

山畑 入札 売伝 松茸 戸帳 墨

弘 佛法 弁当 遠方 畑 蓼 若 義句 彩色 若

妙薬

拾 蚤 風 艾 蜜 芋

踊の腰 減り 鳴 けんさき 指

小商人 継子

拾 相撲の世話 子則 推 蕎麦

蕎穂 大豆 あの紺 菓 金

歩あるとき 奇の集 綾

蕎麦 金 拾 蕎麦 楽羊子 人の

ひろひ ひろひ 門流 不 に 合 ひろひ

ひろひ 門 ひろひ 食 紙 門 と 拾 ぞ

光 源氏 枯木 雷 蜻蛉 糸

仏 自 蛍 化 蛍 蛍 紅粉

そげ 面 清 の流 藤の花 双

百氏帝の后 苞 書 手 数 書

蕎 金 紅 白毫 月星

松のこれ ひよん 物 ん 光 ん

けん と 物 ん ん 物 ん

アさとゝめくゝ和歌の道のゝゝよとゝろ月新壮
而好学如日入之光と師曠う刻し燭の光能よ
ふゝうりとゝ盛久の歌を絶しぞうりの法華
なゝと死ひゝりとゝり

龍

幕 旗 竜 章の紬 二ム
恩心 小忌衣
仙樂龍風処々聞ゝ。長恨歌白浪花千
片鳳点青天字一行ゝ。殷紂の民ゝりくゝとゝあ
ひゝゝくゝ武王のゝゝかるとゝんゝてゝ

弓

山猟 鋸 車 大石 虹梁 綱
綛 縄 注連 弟 扉風 横竜
三味線 琴 琵琶
霞 自 小弓 一文字
科人 先例 古歌 故事
文木 梨 風 陣 弟 白 大ゝ
糸 紬 假橋 心 汐 漆 尺 泥 糊
ゝ ゝ袋 ゝ ゝ の縄 腰 牛 ゝ 火
双六の石 大根 牛蒡 息 轆轤

釜 桜 樺 筈 関 野 ゝの小松 虹
放 彩 弟 逆 茂木 川 糸 ゝゝ
祝の義 ゝ 亜

かゝのゝゝ彩のゝゝめゝとたゝゝゝゝゝゝゝ
ゝくゝゝゝの糸ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝでゝゝゝゝゝのゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝこゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝ

久安　人名　大木　信濃の松　永治
順　神代　君代　老人　菊間
長徳寺　他和　菊のさうり
絵の寸量を詠のひ紀伝の齢とのべし筆数よ
ゆ及ひ七迷ひの名を数えるまでくれなり勅
の年を数いろいろ。一瞬の寿よみす年の寿元
とおくらしこのめてこのさしく寄りぬ石とふの
社のりこのりひとこのりこのひさしさ代ゆりく
ふあわつくまゆ花のさうりまのうえふしく
くし仏名の苏ゆくく
名所
廣沢　山城　池　月人　堤の柳　吉義
代くの流　信人　ものさ　吹滝
大桑　さゞ　常ゑ沈　遍照る　葉の岳
定徳石　信州蛙とのの　西行の庵
行の名
氷室　同　建物　芹のあ　下宋
松り湯　岩屋　羽衣あり

小野　信
平野　同　原　代よ　杉の白
雅波津　花咲　紙屋川
西の京　綾枝　河内　祭　四月初申日
大和　山宮　巻向　小松り京
捨原　ゆつさゞ　獄　栗のうく　伯耆
村河　吹神の名　吉義　ふこ名
淡名　ふ名　芋　播　三條　岩の椎栄
廣瀬川　同　神　日面　白浜
わうの山面　六月　新潟
松隈川　同　菱　弱ふて　月　野の宮
うくぐ　入野の宮
廣田　摂津　濱　神
わうぐ　絵　絵の数　神垣
わうの名　吉義の数　ひとの岸
ゆゆして　信の江　村落　みそう

比叡　近江　社山　高嶺　杉　木綿　榊　三世の佛
祢宜　高木川　周防　ほとゝぎす　我立松
鶯の高殿　白髭の祢宜　宮人の文
雪　橘花　嵐の小社　三石　高欄
蛇池　四明ヶ嶽　蘇る北欧の海
八重　十濃　坂本　雲母坂　横川
不動坂　白髭の高嶽　十禅師　三井寺
青蓮の滝　下ヶ松　赤山　高勧
八瀬　教覚　白川　山中越　高野川
修学の院　幸海　山王　天狗　湖
法師武者　文殊樓　茅師　如木
白髭武の祢　比叡の祢　大幸　金剛　教の富士
大宮　毎年の水　はの竹

同吉　同　天ヶ瀬　比叡の祢　七の石　ひさご
比幸　はのみの戸　寒林

同の桂　比の宮　大津　坂本　志賀
横川　唐橋　湖　猿楽　三井寺
服部　猿　知　舞殿　殿
同山　高麗浦　松　ふぐさ　湖

比良　みなと　志賀の海浦　秋の妹
釣殿の海士　長うら　蓮華　紅葉
花橋　みなと　高野の滝　行基橋
大系　和尚　堅田　小松　長津浦
比治奇灘　播磨　はすの葉　九月雨
いなみとり　みなとり
松の人

領巾振山　肥前　松浦川　さよ姫
りうこう　水　蛭の羽衣
六月雨　いもとれぬ中

常陸　東海道　比敷　義和田鯉
みなと　浜　滝　沼　伏見方

小櫛京 鰊 鰊 常 筑波山 榛川
わらべ西川 信太の沼 みなの川
香取の海 季房の配流
東山道 綿 紬 楊 古川郎
銀桐 くい寄 掏栗 信山
細江 袴 廣衣
山陰道 海月 海鰊 法利
拶胡所 ゑ毛 牛窓 鳥城
飛弾
備前
鱧 小豆島 刀祢治 唐琴の沼
同 檀紙 楊 小菊紙 涼
柳 竜腹 鉄 二方の里 沖島
備中
板倉橋 吉備津宮 細谷川 吉田山
祢宜備山
同 多の表 三原酒 尾道酒
備後
砥石 庭切 鞆浦 風早酒
さゝゐの橋 鄙山

肥前 西海道 土器 小利の焼物
五島木綿 白たびこ 海月
五島鰯 佛ゝ柑 磨 松浦 川上
五島川 白酒 鏡の宮 近の酒
肥後 同 師房 八代 蜜柑 天草紙
鯛 岐世笛 菊池 苔 石豆苔
風流島 阿蘇の宮 鼓の滝
日向 同 苦竹 松板 土器 葵
きゝぬ口のほくし こうり表
淡木原 文蛤 素法
毛
紅葉 岩の久月 讃岐山 桂木
松 菊 霧 雲居 男衆
岩垣 とゞの声 森 車崎

煖酒 行幸 小倉山 大井川 奥山
汚穢流 宮けのあり わしの山 こる雄
通天の樹 茸狩 鹿山 鄉子 傘
土器 衣 羽二衣 顔 媒 秋の空
讃 秋の田

紀貫之すくこうそうして海仙楽らつあと吹
でと徐角よりけり。紀ふとひろひく懷中よ入さ
きハ亀ふ乗る巳とあり。也月勝月の日紀ふ氷魚
と分くとと色ひろれいらしのりみちと五とと色
月のひり日とも言ずとわ事法華の言へ六
仙云資賢の詠し節と紀とりとうり山石民法
八字法辺の紀ふさうりとて和江歌を催しうり。
紀ふ仁徳媒ぐ。ちり言けるづくこの紀ふてき
け記ふ和り弗とてとるふ。麻胡とふるの上毛の
くもこふよ言し紀ふの紀ふりとふ言ハこうし
てちりみちとひひくこ宮言とふてくこ。
天川紀ふと楊ようもとやセタつの枯とし。
久保の月のうつし秋ハ紀ふ くれとやてわまこ
ちん。紀ふのふれとうりおうこ言の風ふ

らちとうや

森

花 紀ふ白ゆ人 柏木 山中
稚 神社 罠 風 海さ祈
五祝 名の言 河鹿 宮 言 言刈
秣飼 月 蟬の言 蜩 刈葉人
斤畏 生面 三笠山 いそ山 鶯
名義 言 嘗め 言るわ言 言の月 乳母
親とり 菖蒲 任連縄
五言の名言 小倉 法師 野 言の言 言し言られの
言の木の言の言言言言 言言言言

宝冠　岩井のあり　牛　曲あの庭
絹　布を忘棚　ひとひの芭蕉　俗
木槿　五安の園

天宝遺事に千葉の桃花と妃の冠を挿こい
ともこ。又曰不独萱草忘憂此花亦能消恨こと
漢李夫人病起見桃華盛開曰不分桃李華如
錦惱人病眼武帝去其華こ。二桃殺三士と安
子ら謙こと。桃とりて鬼とおそれてとりつる祇代
巻りこと春来遍是桃花水。こと。
さりんらのへのうきねよりけるひとりの花

藻塩草

祝のあり　形なの又　新書
海士　鱸　海苔

りりくくうへよこてひ藻ねして拾こうろ
人とこひつりなてふすのうよてともよ
めり。松魚の出くのわうりのもりの。おいもの
神よりろもうるさ

藻

浦　海へ　蛍　鱸　こ川汐　川
ろ浪　高砂　海苔　苔の花

柳陰　みこ　蒲衣
岩ものくめこ。ろ。八日れこ
なりふろ。雑俗のもの。ろ玉かて
あくれてこに人とこひくく。波の玉藻とろそ
必ってこ宇安とわれこ。金魚藻
のこよまと出くくろこ。藻よこむ虫の見ろ
とこくろ

百年

こくも　小町　胡蝶の夢
桂坊の女　兎

古今序にの出ろ年八ろ世ろこ
なんろにろこ。長明道記にこひ百年乃
ホにろこそびんの和ろ。ろ。
文淵性嗜酒臨卒謂同類曰必葬我陶家之側
然則百歳後化而成土幸見取為壺実獲我
心こ。感君一日恩亡妾百年身こ

餅

こくご　梅　産屋　二月　祝こ
祭　四月九日　土用の入　桂
日名　梅上　三月の三日供　表作　そう

みくまさき　下戸　弟の澤　醍醐井
菖蒲　三月の節　大佛　勝尾寺　弘所
ちまき　誕生日　聖霊棚　寺の中
城南寺祭

変秋宜　煮餅　餅の緒　ちまき　餅
王熊なり　趙岐八餅　と奏　雛　とのゐ
ふ代　ちまき　ちまき　おくれ　おくれ　ちまき
ひさ　ちまき　ちまき　ちまき　ちまき　ちまき
ち　平秋　西の方　白　粉　ちまき　帝
夏月　湯餅　と食せ　む汗　あく　帳
いちめ　白　ちまき

盛物

古桶　四の菓　仏前　華瓶　祝儀　かしき
水縄　柳子　佛飯　香盤　吉家の菓　桑蓋
詩經　茨戦乎　毎食四簋　乳人　碁局の月
とうろう　ちまき　ちまき　ちまき　ちまき　ちまき
さて　ちまき　ちまき　ちまき　ちまき　ちまき

ひろ　ちまき　ちまき　ちまき　ちまき　ちまき
かし　ちまき　ちまき　ちまき　ちまき　ちまき

面舌

古桶の菓　紀州　尾張の赤
一村薄　徽宗　埴輪　山深の里
淋しき　桔梗　置辺　三病鄙

ちまき　ちまき　ちまき　ちまき　ちまき　ちまき
ちまき　ちまき　ちまき　ちまき　ちまき　ちまき
ちまき　ちまき　ちまき　ちまき　ちまき　ちまき

武士

棒弓　竜の羽　竹　虎の皮
往生　文法　連奇の獨作

ちまき　ちまき　ちまき　ちまき　ちまき　ちまき
ちまき　ちまき　ちまき　ちまき　ちまき　ちまき
ちまき　ちまき　ちまき　ちまき　ちまき　ちまき

蟇（モトユヒ）

元服　けぐこう元服　梅木　菊　帝

排子（ホッス）　一村（スキ）　簾　多人の紋

[illegible]

物ぐるひ

桂（ツバキ）　茶ぐるひ　[illegible]

法　法　物　狐　狸（ムジナ）　[illegible]

光とすく　蜂　さうれ大会法　汐の[illegible]

すゝ　西川　小町　[illegible]

契　妻　[illegible]　風病

陽成院伝　[illegible]

[illegible]

物の性（ケ）

あるこの物　庫の上　落ち涙

みぐれ髪　筆　棒（ボウ）　懐姫

小野の奥　伊[illegible]の法　法[illegible]

わらひの上

中臣（ナカトミ）近江　[illegible]

[illegible]

物語

[illegible]　法　[illegible]　薬師（ヤクシ）

[illegible]　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

物の本（ホン）

灯のもと　医者（イ）　壁

古（ちぼこ）　棚　布団（ヒツケ）　神仏　盆　唐紙

灸の寸　漆（うるし）　むし　うーグ　鈴

やまと　漢人の名　あねと　あまと　内外　和漢

本も　出りそ　あそひ　ちり　書　家　八半　高　くの

角　漢書　ちり　ひく　行く　くう　みと　武州　合

沢　小隙　氏文庫　立　くり　と　分　秦始皇　多

くの書　殘　捨　しい　滅亡　のき　ーと　ゝ

文字（モジ）

唐　殘　閑　行　石　奇　猿

徳（おの）　鳶（カラスバ）　羽　鶴　鶴　川　の　石

まーなひ　ある　美　石塔　茶代　衣　下判　焚火　衣の妻

文珠云無有文字言語是真入仏法門と朱子

日伏羲始畫八卦乃文世文字之祖と稱如字と

亀山毎歩受曰道之傳不在於文字学者當求

聖賢之用心ゝ　ゆゝ　ゆゝ　ゆゝ　ゆゝ

同録（モノロク）

進和　物の本　筆　玉　すぐ　行（ユク）

遺和　法（ツメ）　茶　西

唐紙の入漆　ゆゝ　ゆゝ　ゆゝ　ゆゝ　田舎　寅

和　て　て　て

唐ふるき事ありしかども、[illegible]

[illegible]

毛氈（モウセン）

[illegible]

望月（モチヅキ）

駒牽（モヒキ）　信濃

[illegible]

文殊（モンジュ）

奈良飛脚　九重の戸　山の穂

安倍　般若特　義賢　三七日

[illegible]

服（モ、）

川渡　京道　雑麻

撲根　焼香

竜飢之食一蛇　邦服　[illegible]

在服　李斯伝云禹疏九河瀹九江而服無胤[illegible]

摩字　髀子上　文成仙女[illegible]

文と服の中に封して[illegible]

唐土（モロコシ）

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

門（モン）

あづま　二王　柳ふる　白ゐ　城　額

番市町　玄関　医者

文子曰門必擁蔽其面　大学孔氏之遺書初学入德之門也　門かゝる崔のわゝとゝ[illegible]

東門は八伍子胥眼をくりぬけ九条の羅生門は[illegible]

問答（モンダウ）

八講　公事の場　軍評議　医書

所合　東掛　壇林　論　天台宗

[illegible]

言（モイフ）

わゝび　みとらる　程く　辻占　礎

梓ゆづる　多舌魚　仕去　菱者

犯人

[illegible]

ものいそれぬ

猿轡　行逢ふ　私

負ふ　中風　高吹

[illegible]

桃まつ　はくよむ　物よむ　水入

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

百姓の間のこつ〇よこ[illegible]しくくやこの八[illegible]
山ハ行うしと横川めく知えよりめり百姓の大文
人のふじわくくろろかさいなくくく

門司関　長門　[illegible]

[illegible]

百姓の屋　[illegible]　亀の甲　壇の浦　[illegible]

平家の人々[illegible]入る

紀伊洞　月見　麻の衣

[illegible]　[illegible]山

世

蟬　夏山　[illegible]

[illegible]

蛍　蜩　高野山　槽の糸　[illegible]

樞　鯢　帆柱　鎌倉　耳の須磨

小門　播磨山

竹の子　蟬よ似[illegible]

[illegible]

この夕象[illegible]

[illegible]

[illegible]

てゝ[illegible]の[illegible]せんしゝ[illegible]の[illegible]
てゝ[illegible]にゆゝさせゝ[illegible]
[illegible]
者の姫は[illegible]
と[illegible]
[illegible]

聖人（セイジン）

西方政麒麟鳳凰 聖芝 五百年

[illegible]

聖人不死大盜不止虫蟲聖人而治天下則是重利盜跖也と莊子にあり。民之初生固若禽獸夷狄然後知官居而粒食と韓文にあり。聖人去甚去奢去泰と老子の句なり。

勢至（セイシ）

楊貴妃 法華經 結文

越の美女 六七日 觀音

二十三夜の月 呉王

月の[illegible]

[illegible]

禪法（ゼンオウ）

[illegible]會 詩作 [illegible]民 [illegible]

[illegible]

無心至処禪。惟寛禪師曰無上菩提被於身為律說於口為法行於心為禪。應安の比迦曆[illegible]破却せんとしてゝ[illegible]南禪寺[illegible]。燕如談禪嘗漢史。[illegible]氏[illegible]軍の後[illegible]足[illegible]。禪天魔と八目蓮の諸[illegible]。經入藏禪[illegible]

海ともなり

拙文（セイモン）

傾城 商人 祇園の仇旅

えひと系 失物

[illegible]中の[illegible]

[illegible]

千手（センジュ）　清水　滝　瀧　万歳

吉野の大瀧は吉野の長谷より由良とゝ紙
間のあるは間やゝこの沈都くなるひゝ三千
三万八千かゝるはぞ四村八郷のめくみ夷
狄をかりはゝ邪の北方坂中連八郷

石塔（セキトウ）　小野　吉野山　宇治川
宮滝ぐら　鼠武紙

小野の市あるは小町の石塔ゝてわりぶるも炎上
ゝ金堂ゝて焼し法ゝ今八石塔と化ゝ新根山
ゝて石塔ゝつゝて四ゝゝ山ゝ法

雪隠（セツイン）　沉丁花　蠅　炉路　数寄屋
猫　湯殿　思案　彼岸
大仏　無名　厳籠（ラウヒハキ）　御羅　生ゝ

旅宿おゝくは先若隠のゝ和ゝ
ゝ大仏蓮造立ゝ八ゝ

に四ゆゝゝ大坂八ゝ先若隠のゝ
ゝ腹中氣のゝ八ゝ

花栽（センザイ）

和ゝの日ゝ集　前ゝ　少加　松
露　宵戸　野文　置作
河内かゝ

ひゝ男人のゝ栽ゝ前ゝ
さ付やゝゝん
と面白ゝなゝと
ゝ小ゝゝ
とゝ花栽ゝ
ゝゝ女ゝ
ゝの
ゝゝん

宵戸（セド）

畠　なすび　断切
若隠　隠居

老のゝゝ八ゝ宵戸ゝゝ
ゝゝゝ
なゝ
ゝゝ
ゝゝ

芒分（セキブン）

いり大豆　ひとり　五條の天神
内侍所の神示　法一　佛

實松　白米（シラケマイ）　しゃうれんり　感ぜんじ

造作せんとてハひろけんとおもふ人ハ近連（ちかつら）
行ひ　何事ハ田舎下ろの人ハ取前（とりまへ）遠し　行ひ相
模ヶ濱民　角方ヶ濱　蜂起して明年ハ小ふさ迄
芒ハ　ゆるす　帝　新　芒いんとうり

芒供（セツク）

鶴合　塩干　菊酒　桃の酒
ちさ餅　賀茂の御祭　乳者
你美奈　砧（ダイゴ）　砧奈　粽（ちまき）

南門　法　作花　わり　池　湯　ちまき　死　ちまき　死
よ　鞠　わり　ちさ　ちい　ちさ　ちい　ちさ　ちい　ちさ　ちい
三月の芒　ちさ　ちい　五月　ちさ　ちい　屈原　ちさ　ちい
やぶ　ちさ　ちい　ちい　ちさ　ちい　梶の葉　ちさ　ちい　紙　行
ちさ　ちい　ちい　星　ちさ　ちい　ちい　ちさ　ちい　ちい　ちさ
ちい　ちさ　ちい　世　ちさ　ちい　ちさ　ちい　ちさ　ちい　ちさ
九月の　ちさ　ちい　ちさ　ちい　ちさ　ちい　ちさ　ちい　ちさ　ちい
帝　本　巻　ちさ　ちい

関（セキ）

まさ　ちい　ちさ　ちい　扶村　旅人　弱
ちさ　ちい　ちさ　ちい　ちさ　ちい　ちさ　ちい　ちさ　ちい
次広　白河　本陣　ちさ　ちい　ちさ　ちい　ちさ　ちい　ちさ　ちい
終麻（スカ）　碁　刀　松　清水（キヨミ）　清見浦（キヨミウラ）　不破
高砂　九世　仙世山　伏　鶴の子　毛
疾やと　咲乳　稲乳　ちさ　ちい　ちさ　ちい　ちさ　ちい　ちさ　ちい
ちさ　ちい　ちさ　ちい　ちさ　ちい　ちさ　ちい　ちさ　ちい
ちさ　ちい　ちさ　ちい　ちさ　ちい　ちさ　ちい　ちさ　ちい
ちさ　ちい　ちさ　ちい　ちさ　ちい　ちさ　ちい　ちさ　ちい
ちさ　ちい　ちさ　ちい　ちさ　ちい　ちさ　ちい　ちさ　ちい
ちさ　ちい　ちさ　ちい　ちさ　ちい　ちさ　ちい　ちさ　ちい
ちさ　ちい　ちさ　ちい　ちさ　ちい　ちさ　ちい　ちさ　ちい

とんいえつくんと法氏のうをとふとくとれり 京
留春不有開城固 く

瀬

飛名川 中川 わだらま 宮治川
魚釣 汐 服 畠 牛 る 古杭
なのようなるとうとしるあるよのの川の瀬とに荷は
のかれ。船艦無流夜 瀬 難 。瀬とるこ岩を
うくとるこ。わ田の川淺瀬ちくなくたるとこ
ちかり。園の弟兵ハ瀬くよ来けてらくめり

背

鞍 灸 川 服 髮 馬 牛 魚
のかせさう 風景 衣裳
毋衣 濯のあけまし

其背 日衣得 無薄 平とハ温公の伯父長安
せーるんうけつる綿引けよ作まくむう神
じせかのくとてとハ仏者のるん。仏入滅の時背は
こかのとん

洗濯

毎るく紙 立海る旅人 番
ゆゆ弱る亀 わくるる日
まつーき勇 ヤりめ作 川 婦人

まるる人 病わるり 鬼の手ぬ 師
一向宗の表具 ひと法師

ハせうとと人法師よりるくみとしめ
らくひなくする人の手りれいかのりくとあと
なん法よとせうるるに。祖父ハ人ばまりよ祖
母ハ川へ法濯ふとむーしくのあ後く。いとなきな
とんむうきの中みくきるりのん。ふ屋のいとぬて
まとあるるーそめてうけき

焼亡

祇園 解 蟹 落城 陣場
亦 立花 城下 風 小家

石 ふぐ
義経一の居よ向くれーるすくー多きるに例のくハ
まつといくれーるあり。繁昌なる西ハ焼亡ゆくと
いひ作くちり。作るくもくんくすりくくいのの
板石のわんくくりり。文保よ三年るやれ。祇園
まるくくく法場ごハ法師くくくくくくくけ
ものくハ法師くくくくくくくくくくくくくけ
ちごもくくくくくくくくくくくくくくくくくの
ものくくくくくくくくくくくくくくくくくくの門ハやけり

千里

虎　馬　雷霆　月之

之下　紀の國の涙

鯨魚大者長千里小者数十丈とも。於池中聚石作九嶋魚繞之日行千里とも。千里嘗嘯緑映紅とも。入夕の後八百里もひけとも。秦甸之一千餘里凛々氷鋪とも。千里懐帰便自帰尊鄭聊以寄吾思とハ張翰の事也

世帯

女房　ものも　商人　信長　くもつけ者　絵子　笑　歓

為年の月日の心もなくくらしてそいとも名。いさゝの延引ハさゝめくゝ家もなつけ六月の中ゆゑ無月をくらす仏名。心入の松ハふるゝく世帯しとなり。

世界

仏　ものゝ　氷板　ものゝ

為諸衆生説是一切世間難信之法とハ阿弥陀の名号なり。世間無限冊青手一段傷心益不成。公道世間惟白髪。世間無限物無比無学人とハ仁宗皇帝の勧学の文也

銭

嘉祥日　齋　楊弓　的　灯明

鼠戸　占　非佛家　拍子

地獄の沙汰　わらべ　蛇　ものゝ

市　陸奥　菓子　鞋　遠金海色

蝶入　棺の中　絵の筆　商　浪人

旅人　非示　建仁寺町　坂下　犬

子母銭成豈憲資とハ。郝廉ハ名のむとに一銭身の中へ入しく。流球人のなもしを名同一の奥の沙汰なり。梵中へ入れしく。有銭千里遍無銭離壁龍とハ。荷銭買夏とハ。清献先生無一銭琴の鶴更是可象傳とハ。晋王夷甫ハ口よ孫といふ。有漢人共胡人同銭共買一駅とハ。平初生四枚如小銭之形とハ。黄尋八十風雨よ銭ものゝ

紙頭

奇の品　矢橋の浦　ものゝ

角田川　人商人　日和

ものゝ濃山の名ハ紙ものゝ自然産

八坂法師と云て大深淵ゆゑ[illegible]
わくらの転訛なるべくとすけやとん 土佐日記よ
ゐ[illegible]の表もゐ[illegible]
つまはくゐのかんとそ[illegible]
とさくけだものの匂ひ[illegible]

施餓鬼（セガキ）

蔬（コモ）をめぐらせ[illegible]
つるすもの 連そ其の母をそなへけるゆゑ始
[illegible]りとちん新産して為ゐるとゐ[illegible]
とゐふるとすとゐ[illegible]
こゐふるすわり

川名 玉藻盆（ウラボン） 六道
北郷堂 三門

殺生（セツシヤウ）

海士 物部 阿潘
みの涙の嶺所 奈良坂の石

殺生（セギヤウ）

蓐礼 年忌 彼岸 庵
盂蘭盆 堂供養 飢饉年

不殺生戒の所[illegible]
てゐ[illegible]
[illegible]
放生会はこゐ[illegible]

[illegible]
[illegible]の礼[illegible] 神功皇后三韓延治より殺生禁[illegible]

梅檀（センダン）

織の釈迦 わらぎ ち地
垢 絹 鞆（ヒトリ）

梅檀葉々香風起[illegible]
[illegible]
葉[illegible]

芹（セリ）

氷消し 弘 沢ゐ 小田のあぜ
麦畑 鶯 居 嘉流 [illegible] ちつのち 川
劉殿八紘母の芹をとの[illegible]
忽芹生[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

掃待 孟嘗孟 [illegible] 信義の館 [illegible] 謠

七月六日六地蔵めぐりとて [illegible] 掃待あり [illegible]
天の法いま稱ふまうんとをくて往来の人よのもせ
作りも掃待の公なりとやの附会伝堂供養に群
集なり在る掃待とせり

責 科人 碁城 慈会伝 祈
地獄 白光 むりん人 罪人
でいを むくを

石橋山の敗軍より地蔵堂の上人牧狩の上下人
弘壇の下の穴の中りのくしてらぬと比と大塔り
上人と夷殺しこの老ぬ [illegible] 我身をせめ
けんかひとにくまれ [illegible] 孟子父子之間不
責善責善則離 [illegible] 則不祥莫大焉

責善 人ぶり 島の秋 [illegible]

せきぶ 灰火 溝川 [illegible] 名の [illegible]

蝿 蛾

[illegible]
寂しくこと [illegible]
中 [illegible]
為せ [illegible]

宵員 川越 信義 [illegible]
若人 米俵 牛乳
若別 [illegible]
ひ [illegible] 軍場 [illegible]
[illegible]

ふせ 橋 会伝 えん徹堂 松永
蓮 [illegible] 永堂山 [illegible]
[illegible] 桂木
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

かれ

[illegible]

せざる

仏縫布一所 初瀬場

厨子の紙 山屋 [illegible]

日ひかりの紙 山屋 [illegible]

長明の方丈の住居 [illegible]

姫はせざるしてうつふくとあるをうつ

数十歩ばかりしてひろさ平地なるとき。始

皇三十五年咸陽人多光王之宮庭小人[illegible]

朝宮渭南上林苑中に。城中寸五如寸[illegible]

謂城市地狹人稠[illegible]

蟬丸小河

嶽 清水月 花田の岸

君が代 たき木の森

芹生

同 世をそむく門 [illegible]

いろいろ 下紐 みぞ

芹河

同 さくの山 [illegible]

大原

竹田の里 [illegible]

近江 [illegible]月の弱 [illegible]

関清水

後ね洞 [illegible]杜 大津

[illegible] 追分 [illegible]

同 渡河橋 中道 里

鵜多

矢橋 [illegible]橋 [illegible] 湖

大蛇 [illegible]

焼物 柴 百足 [illegible] 石山

夕照 [illegible] 田上 [illegible]

[illegible]の宮　[illegible]月の弱

関義河　義濃　万代　[illegible]

[illegible]の嵐　弱うち[illegible]

[illegible]　宝[illegible]の百首

関原　同　意丹　松尾　不被

山ぢと川　与一

寸

杉　付る　[illegible]山　社　神[illegible]　[illegible]の宮

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

檜原　三[illegible]　天の[illegible]山　[illegible]　布[illegible]

初瀬　山[illegible]の原　横川　[illegible]　三上山

酒[illegible]　折重　箸　戸　陸[illegible]

菜　[illegible]　[illegible]文　[illegible]　苔　[illegible]

護　楊枝　天狗

二月[illegible]初午[illegible]

[illegible]

[illegible]

すまし実なるこの秋に成ることそれ
ゝなりゝ苞流色ゝ
人ゝ知ゝるに草絡ゝ
石ゝ
やし女草つひしんとゝ
ひつが草ちゝ

菅（スゲ）

池の汀　沢水　沢　奥山　谷陰　岩ゝ　根　三宝山　初瀬山　笠
ゝ　谷陰　山　義　造　氏　近江
柳短（スゲ）　長溪水流（ゝ）　ゝ
てゝ
人のまゝ
ゝ

薄（スキ）

古墳　虫の音　わ
小金野　ひゝ　小町の墓
小藤　月ゝ　うづゝ　義武者　墓

雀（スヽメ）

祢社　小弓　疱瘡　散米　ゝ
実方　鄭　蛤　ゝ　人の魂　信
松尾　ゝ　祢ゝ
雀能講曽論語ゝ。裴耀卿ゝ書ひゝ雀ゝ
初ゝ
賀ゝ
ゝ
ゝ

ら分ちのあにうわりとこ。枯のにうてしかのしこ蒹葭とうくしひとく高ふりふん

巢（ス）　大根　牛房　知木（ツギ）　椎辺　出

蜂　狼　蒐　蕎（ソバ）　蕎　蕎　酒

象牙（ザウゲ）　門　高ふのの香　鏡

古ハ木の上ニ巣ヲ作ル故有巣氏の民とのひしまり。

南禽食静巣衣桁ニ。燕之巣于幕ニ。くわや

うなるとこりり聖人居高則仁義為巣ニ。巣知

風穴知雨ニ。つくるの巣の中ニあるものひと

求ん。ちいるるぬ巣のそるとと巣ろ

のそるの間ろてるひよりそそるとと

らんとこ巣のるん

巣豆（ス　タキ）　ちどり　酪（カモメ）　鴨　蒐　蕎

みとる　大根　牛房　枝木

葛池

あるる分延の里のりれ巣豆初ろ巣のの

しる。松の枝ふひる巣のもとろとれてるとと

ろかるそうんそそ羊とさけくわとた

巣豆の蒹と称ふのこと。

巣（スバキ）　蓴菜（ジュンサイ）　松江（スンカウ）　ひとのうく

鱸（クハノサウ）　三郎　次井演

秋風ふ吹ふ晋張輪ふ。くくくの巣に

のうくに鱸つるあるるるるん藤ゆくるしそ

ふくろ海ふのとりひそふふくにぬ人ゆくふ

ろふふるそれつる竿のふるのそくろうこ波のく

ろうふくくくくくひけ。左慈ろ銅盤ふあるた

くくく竿とるそ鮒を釣ハ仙術とろ

鮒（スヒ）　鯨（ミナゴ）　松樓（ヒ）　祭　毋とんごろ

人群集　小豆餅　蓼（タデ）　酒

足田

わさわなの和ふふ門とをくくくれ人鮒

のくくくになるくくろとうくれ。宗廟の多のそろ

へうも鮒ふくくろ。陸機餉張華ニ鮒華ニ曰此竜

肉ナセ遂以苦酒汰鮒中ニ有五色光ニ。吉祥の

釣鮒鮒くそ又風流のりのふ。越中ノ松波

鮨ト世俗ハ蛇の鮨ハ龍ハ似ル魚ト云

酢

梅 柚 蜜柑 紅粉 貝 蛤
わげ麩 寸白 醴 瘦法師
爪切 生魚 糸瀝 青苔 犯云
三不吉 生海苔 和泉 喧嘩ふ

本草ニ曰孫光憲家婢抱小児不覚隨落炭火上便以醋泥傳之無痕云ハレ。酢薑の狂云ハレ。も系弔といつり。蟲の味ハ也とりたるとりたるとりたると

隅（スミ）

乾坤艮巽（イヌイ ヒツジサル ウシトラ タツミ）　北形　糸　庵　矢倉
堂　桓　男の額（ヒタイ）　納戸（ナンド）　碁　巾
墨漆（スミウルシ）　海苔の桶　久の巻　ろ　鶴
泣濤　衣　筆　蝦蟇髭（ビン ヒゲ）
鳥賊の臑（イカ ソウメ）美　俗の丹　彩
かしらの髮の雲と深ろ　初紙　一の長旭（キヨク）
や。すすきめの今面の山よ入人いたろくもなく
ここの人。浮義大とくにたくさんてをくるこ

裾（スソ）

山衣　蟹　沼道（ドウ）　袴　門
臙脂（ベンシ）　蓋　幕

神のれくあくまれ　れんろ紙ところすそ　袴
ゆ旬の梅ろえ。ろ　ろ　わこのこ　のみち
ゆ　ゆ　ゆ　

紙漉　魚子　石池　貝蛤　伊勢

陳簾者雪撥ニ。わかつとまつ〻ふあめりいよ
ゝ化いよ〻ゝを俗ニ子ゝ。文芳巻ニ。ひ
の子もそれのつまゝ子ニとゝ。おゝとそ
とゝ引そぐあつぬゝ。ぞまつと秋意とれど
我宿の簾うゝ牡丹のゝ。具宗崩仁
宗嗣位年十三大后劉氏無簾聽政。臨笠乾
於簾鏑着美山於席下ニ。鎌倉小條の尾ゝ
も簾紙ゝれゝ事紙実のゝとゝ。香炉峰雪
撥簾者ニ

鱗貝子

綱代　縁　鳳呂の内　鰭

垣　紅梅　蛇　炉陸宮酒

山里のわゝつよかゝゝたゝすゝゝふゝゝ
ゝゝひゝゝゝゝゝ。ゝゝゝ紙ゝゝゝゝゝゝゝ
すのこえんよゝすこゝまゝと部奥の弁舌ゝ。
ゝゝ紙ゝゝのすのこゝゝゝりのゝゝゝけてゝ
ゝゝ月ゝゝゝゝくゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
て風ゝゝゝゝ月ゝゝ

鈴

祢子　三蓋叟　驛馬

大　鳶　猫　筒護　内侍所

祢興　手盤　恵義酒棚　梅の実

栟檀の実　鞠　母衣　花　紅出

初午参り　掉　掉の先　鵞　鴨　菜

掛定　酒盛　閼伽ひとべ

法師ハ家軍ヨ知康ゝ。げゝ。ゝ。ゝ。

いぬ 釈迦の像八方八寸の水晶とゝ

砂 スナ 禁中 立花 食 カヲ 鶏冠 クヒカヘ 竜 トケイ 土圭

滔 花壇 濵川 辻風 蚤 ノミ

名の字 溢 ミ 扇の地 暑 ヤノイモ 薯蕷 生姜

食 作り道 壁土 ろくろゆね

蛤 防風 魚山 西山 落居 作り庭

弥社 塩 ホ 焼 ヤキ 紅 クリ 底 苔

蚩尤兄弟八十人並獣身人語銅鉄額食砂と

史記註に西王曰砂乾馬足輕こゝろとゝ砂の中

よりあらはれしとゝ。但河廣四十里其沙至細ら氷

同流ゝ。西陣の七の社ハ砂とゝ

庭増氣色晴砂緑ゝ。

双六 スゴ 后の伝わるとゝ 禁庭 わるき

鰐ゝ 紅 近江の君 天狗 傾城 仙々

わるの実 城青 孕子 女中 月給

ゝ後ところひとゝ 子 六のこゝろ

しのゝ上のゝ。

双六ゝ実ハ盛安ゝ九条

敵ゝ ひ双六ゝ まゝ ん と作らゝ

まれゝ男とかゝ子 ゝ六ゝ

うゝ ひゝ ゝ

城と表ゝ ゝ 横 竜

咲せ ゝ 陣 双六ゝ 喧

桐 キリ **撲** ツマ 伝わゝ ゝ ひ 禁庭 わるき

わゝ 狩 祭 獅子 夷 エビ

敵上 比義祭 犯云 敵上 食 美

名るゝ ゝ 城 業平 作 撲婆 バイバ

る士 車つゝ ひ 大石ゝ

西ゝ敵ゝ 敵迎ゝ 満仲ゝ 稜ゝ

仲力 ゝ ゝ 稜ゝ

王 ゝ ゝ

対 ゝ ゝ ゝ

ひゝ ゝ ゝ ゝ

ゝ ゝ ゝ ゝ

ゝ ゝ ゝ ゝ

の入らび

数寄（スキ） 初雪 赤烏帽子 足袋（タビ）
盃上 うたい物
紙 紙 田 食物

茶湯とは世云方こそ茶湯とすれ紙の上
古茶とあるあのひーとゝ数寄者上手者
くーて下手者ひすく自紙とゝ紙をしかれ
酒とゝこの紙茶とすけ八接雑紙も初さ。
茶の間とすけ八茶屋紙

姿（スガタ） 鏡 文字 袋のうし 紙の懐
立倫 高砂 返魂香（ハンゴウ） 名香ゞし
結髪 山 池 形之のみ 高

高からぬゆくしの分くゝなる姿おりしと
八姿とゝの物の何し。三年わかり二の姿とゝ
ひーの人のあり給そ見之而自在のこし。五
百九八姿とゝ分ゝ。男之姿とゝ
ゝ。姿宅の姿ゝ八山伏姿とゝ。病人の姿
八ゆかりとゝ。御ゝすとゝ姿とゝ

脇（スカ） まけお接 松 松枝 席 牛馬
敷 策 庭 坂

ゝ女のとゝ蛭（ヒル）のゝ付ゝ無ゝ
そゝとゝ。ゝ科人（カ）とゝ鉄炮ひゝ脇を
ゝゝ

強者（スカモノ） 虎 松の木 萩 牛 樫
紙ゝの中 ゝ云人 脇半（ハン）

細工の上の義経の名人 ゝ
肉のあるぬゝ紙ゝ
田ゝ強ゝ人ゝ
てゝ
刈ゝ

燥（ス） 竈 文台板 古家 干鮭（カラザケ）
ゆ鍋ぶり 表具 竹 師走

鼻ゝ 河豚汁（フク） 仏壇 古家
芦火ゝ
いゝ

[illegible]

鋤

引鍬　田畠　樹木　作り道
耕作　磯土　日傭　刈伯倫

新米為粮　操米為米　周易ニ曰ク周武王誅紂後天下大平使以刀劍為鋤鎌ニ書ニ曰ク周武月荷鋤帰ル　荷鋤成雲ニ　師普請鋤地次見黄蘗来挂鑊而立黄蘗云這漢困耶師云鑊也未挙困箇什麼ニ

栖

奥山　地獄　彩色　遁世者
殺心者　獄　蜜　乞食

本の如くすこしくすれいをのつくるあらうへとなりまのかくれ。桃李不言春幾暮煙霞無跡昔誰栖ニ。俗人もこのあくよ栖しわくかなり。酒典童子の栖は大江山。七化り栖ゑまる墓ありの。[illegible]の居くいばゆ[illegible]ありしき栖ゑりくと[illegible]

冷

冬の月　古家　秋風
ふるき例　老女のけそひ　大内
産屋　よみの死あり　鬼の面　和尚
蚤　犬　虎狼　野干　瘧　樹
秋村　秋屋

[illegible]

涼

秋の夕風　蛍　村雨　夕立
端居の神　月　柳陰　樹の上
八月の本陰　家の居　行の戦
北　わけ　志　わけ　志の本

架 孟山 石菖 行水
紙製 判紙 蜩の抜け殻
清みづか 賢人の公 小野風
第長

欲將何物招嘉客唯有新秋一味涼 鴨公
う述作んぴはいかりうるかせ
しさ中川の布やくの里を
あり天高景自涼 前漢 皇帝 天下 和平
涼其德 白うるれ
扇の風をすしうる
月九月

掲

長くら 玉 板判 逸人
張代 しの字 川瀬の魚
絵の具 針 箔 鞠 碁石 青貝
燧 臼 猪の牙 足 垢 濕
目茶 矢さる 味噌 糊 あの餅
連方
意公秋の月

わるくもなるみーてと
のとをくをくのゆくる
つるこゆ。ものぐりず
まーアしさけり 杜
らん。木賊 木
砂 白 砂 露 研 朱点 周易

直

弟代 しの字 墨 矢 法度
弟 糸 道 板 行 賢人 麻畑
屏風 行の心 さ 棹 帆柱 船の
唐長孫右曰主明臣直 清似匣中鏡直如琴上
經 直 蔵 蓬 伯 三
けとあくすくるやつきね 川のそ

捨

石 なるね 藝 惜 死 中糸
浮世 為 子 砂 れ 履 情
仆 碁の 俵 右 村 古 紀 年
年 高 紀 文 間 姨 あるへ
う 肥 衣 命
無世 聚無 上中 世

すくもこうりの多はすくもこうりはすてにくへしそれ
ゆえいかん。其蒔也若しくは其置也若しくは棄ると云
棗駝の樹とうゆるるのと云ひ。今いふよりこれ
別はとぐへしとうけてぶ公集云桜川の阿
閣梁楊花とりて人行物と切捻花ぬきり
ぬきり

救

綱 小魚 海老 ざこ 海老

鰍 救子 名 あやうき命

金力 飢人 流れ 流れ 湯の子 食

汁の子 鞠 茶筅 合茶 罪人

多分公家のすくひよりうくあやうき紀わもの
ぐれ行くく鰍の船の名のあるくいたるあ紀すひ
うつの中の八十図の後すくふ学者八書出ぶ
すくひとしぶ必い大必のすくひとうけ作り

吸

口 汁 汚れ 蛭 たぐこ 乳房

青苔 琥珀の塵 磁石の針

緜の潮 苔 蝶蜂 海の口

蚊の血 洞毛

吸黒探筆。欽野鰍山。けりけ紀ふ
のり掘と吸て乳とおりあり。鄧通も帝の癰を
やめると吸ふ八行ひ。ひやつくあり紙ハ云
とすひて爭う西りりびとそ

透

紙 髪 網田 あ晶 写物

滑皮 人群集 れ碁のよ

服 胸 戾衣 山簾 樹の枝

帷子 歯 眼鏡

ぶまつくのすれ多の風よりり。壁の透ろまと
ひ。蛛ぶすくうとめ。石垣のすきろろうう紀
ありり。雲鑄 蚕虹 衝兩断ふ。西窓林鑄夕陽紅
ふの。臭ふのすきろハ及のあやう紀ろう

筋

系圖 ものの肉 ふのうう 町

鰐 生れ性みう 力 鼻 矢

水門 糸風 鰐 髪

まるふいるるみるるいて ゆふと一筋ふるふわう
ふるれまん 度度の砂ふ筋のなるるそふふ
ふりれ。緑色ふ ふるるふ筋と公味し 指
ふるふ公ふ筋ふ筋上 てふ眼のなまあるふ

[illegible]

居（スエル）

[illegible] 灸 丹[illegible] 氷[illegible] 佛

[illegible] 釜 [illegible] 石 庵

陶 腰 巻 関 [illegible] 勢 蓮の飯

祢興（ミヤコ） 後餅 [illegible] 供 服 天[illegible]

[illegible]

雪（スグ）

髮 小[illegible] 口 面目 [illegible] 盃

[illegible] 麻 [illegible] 濃和 [illegible] 盛り [illegible]

沈濯（ヒツミスヽク）於海底因以生神号曰底津少童命（ソコツワタツミノミコト）

[illegible]（ヒツミスヽク）嚢濯川[illegible] 祢の[illegible]

[illegible] 蓮の[illegible]

[illegible] 麻[illegible] [illegible]

[illegible] 内則曰子夏文毋鷄初鳴咸盥（ケツスキ）漱（ウガヒ）

把（スガル）

杖 たりく 廉子 竹の子

松茸 [illegible] 市刀 [illegible]

信心 猶の猿 [illegible] 付[illegible]の子

[illegible]

進（ススム）

[illegible] 隠[illegible] 向

[illegible] 向 酒 [illegible] 念仏

易文言曰九之為言也知進而不知退[illegible]先進於礼樂野人也後進於礼樂君子也[illegible]国昔進賢如不得已[illegible]濂掃應對進退小[illegible]

[illegible] 蓮法師人[illegible]

[illegible]

名所

菅池（スガノイケ） 大和（ヤマト） [illegible]子 [illegible]

[illegible] 山[illegible] [illegible]の柘[illegible]

[illegible] 芦鶴

菅原 同 天神 氏 [illegible]

小初瀬 [illegible] 紀ノ江岸 岡里田

須磨 摂津 江 濱 神宮 [illegible] 姫松

[illegible] 松原 月 [illegible] 義の花 [illegible]

塩干 三月三日 [illegible] 九月九日 義浪

[illegible] 邪蛤利 閑子 市

伶人 天王寺 白砂天 [illegible]の浦 [illegible]義

遠里小野 [illegible] 初瀬 芦田鶴

難波 [illegible] 白砂 [illegible]

同 海浦 濱 関 上野

塩やき衣 海士人 [illegible]

[illegible] 浮 海氏 [illegible]

藻塩の烟 [illegible]

義衣 己の日のもとの人 [illegible]

流人 [illegible]平 忠度墓 [illegible]

[illegible]

鈴鹿 伊勢 川山関 澤路

[illegible] 捨衣 山田の原

[illegible] 田村麻呂 [illegible]

[illegible] [illegible] [illegible]

[illegible] [illegible]

蘭田川 武蔵 [illegible]

[illegible]の里 [illegible]の友 月

[illegible] [illegible]山 [illegible]湾 梅[illegible]

[illegible]の柳 大会弘 [illegible]

信濃 海渡 [illegible] 木曽の麻衣

諏訪 [illegible]の [illegible] [illegible]

陸渡 鴨 [illegible] [illegible] 水海 [illegible]

鮒 鯉

陸奥　[illegible]城の松　[illegible]

[illegible]の初島　[illegible]　[illegible]

東海道　安倍川紙子　澳津鯛

駿河　[illegible]戸の澤飯　宇都谷十圓子

[illegible]　富士澤人　三保の松原　[illegible]

田子の浦　浮島ヶ原　本柏の原

志太棧山　宇津谷の山　[illegible]の網代

周防　山陽道　涙　山口の結解　紙

[illegible]　[illegible]　鮠　[illegible]　[illegible]

[illegible]山　室澤鯉　鮎

延寶四丙[illegible]月上旬

寺町二條上町

寺田安平治板行

[illegible]類聚集巻七終